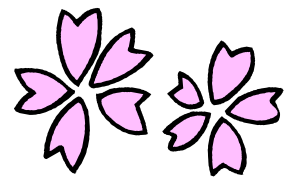


高遠町 地域協議会だより



平成30年10月発行 第43号

地域協議会だより第43号では、平成30年度第1回・第2回の地域協議会、高遠町総合支所あり方研究委員会の内容をお知らせします。

第1回地域協議会

平成30年4月11日(水) 高遠町総合支所

第5期の委員による、第1回高遠町地域協議会が開催されました。開会に先立ち、白鳥市長より委嘱書が交付され、新しい委員による地域協議会がスタートしました。

◆正副会長の選任について

事務局より、会長を伊藤岩雄委員、副会長を黒河内俊委員とする案が提案され、委員の全会一致で選任されました。

◆高遠町地域協議会について

事務局より、伊那市地域自治区条例について、また高遠町地域協議会規約、議事運営申し合わせ事項等が説明され、今後の協議会運営について確認されました。

◆高遠町総合支所庁舎あり方研究委員会について

高遠町総合支所庁舎の建設に向け、将来展望に立った機能や規模、位置について、広く調査・研究を行うため、高遠町地域協議会に設置する「高遠町総合支所あり方研究委員会」について説明がありました。組織構成は、地域協議会委員、高遠町5地区区長会、地区からの推薦(50歳未満)、市議会議員、識見者等の計35名程度となります。調査・研究結果を市長へ報告し、総合支所庁舎のあり方について、市との協議・調整を行う組織(あり方検討委員会)に改編したうえで庁舎の建設を推進していきます。

第2回地域協議会

平成30年5月24日(木)高遠町総合支所

■報告事項

◆高遠地区交通安全協会合併後の組織について

30年4月1日から、伊那市安協の一支部として高遠地区交通安全協会がスタートしました。高遠町交番では、運転免許更新事務は以前どおり伊那安協職員が常駐して対応にあたります。変更点として、事務職員は高遠市民福祉課職員が兼

務で務めること、伊那市からの補助金がなくなったこと等の説明がありました。

■協議事項

●委員からの提案

◆高遠町総合支所建設について

総合支所建設について、新たに研究委員会を検討をしていくこととなったが、高遠と長谷の庁舎の合併を考えているかとの問いに対して、現時点で市として一定の考え方は持つておらず、財政面・利用面等を考慮し、研究委員会において、これを調査・研究の対象とすることが適当と判断した場合は、調査・研究を行っていくことになるかと考えられる旨の回答がありました。

◆高遠中学校通学路及び校舎周辺の環境整備について

本町的場線高遠中学校入口の信号から聖橋及び下流一帯の雑木が通学路に覆いかぶさっている状態で、木を伐り、安全で明るい通学路とし、また校舎の環境美化のために、藤沢川周辺の雑木林の伐採をしたらという提案に対し、学校教育課



から、校庭及び学校敷地内の樹木については、枝払い等の整備を行っていくことや、農林建設課から民地に関わる部分は危険な状態であれば市も対応するが、現状では所有者に環境整備を促すような気運を地元やPTAでも高めていただきたい旨の説明がありました。

◆保育園建設地周辺の環境整備について

高遠保育園建設地前の道路拡幅を延長する提案について、建設検討委員会で協議をする中で、駐車場入り口付近まではすれ違い可能な道幅に拡幅されており、保育園関連としての道路整備は計画のとおりと理解いただきたい旨の説明がありました。また、敷地前の水路に蓋がないため引き込まれる危険があること、通学路であるためグリーンベルトの設置を望む提案について、送迎は保育園ルールとして整備した道路を使用することとしていくため、拡幅に合わせ暗渠化している。合わせてグリーンベルトも送迎車両両区間のみとしているため、今後の整備については、現道路の整備検討と同様になる。水路については、グレーチング設置と引き込み防止用にごみ受けの設置をしていく旨の回答がありました。



●協働のまちづくりの交付金事業の選考について

申請のあった団体について審査が行われ、3事業が採択されました。

○ 高遠太鼓保存会

事業名「高遠太鼓保存会」
交付金 531,000円

○ 信州高遠花摘み倶楽部
事業名「高遠花いっぱい」
交付金 561,000円

○ 伊那市高遠町「日本で最も美しい村」推進委員会

事業名「伊那市高遠町「日本で最も美しい村」推進委員会活動」
交付金 385,000円



第1回 高遠町総合支所庁舎あり方研究委員会

平成30年7月3日(火)高遠町総合支所

高遠町総合支所庁舎の建設に向け、将来展望に立った機能や規模、位置等について、広く調査・

研究を行うため、高遠町地域協議会に「高遠町総合支所庁舎あり方研究委員会」が設置され、第1回目の会議が開かれました。

高遠町総合支所庁舎のあり方検討にかかる経過や、総合支所の現況について、高遠町地域の将来の見通しについて事務局から説明がありました。

委員からは高遠町の人口年齢構成のデータや、伊那市他支所の状況等について質問が出されました。

第2回 高遠町総合支所庁舎あり方研究委員会

平成30年9月18日(火)高遠町総合支所

第2回目会議では、少人数のグループに分かれて、「私が暮らしたい将来の高遠町」、新たな高遠町総合支所に望むこと(機能・役割など)の2つのテーマについてグループ討議を行いました。各委員から自由に出された意見をグループごとに発表しました。



第5期 地域協議会委員を

紹介します (敬称略)

任期は平成32年3月31日までです。地域や各団体の代表として、活動いただいています。



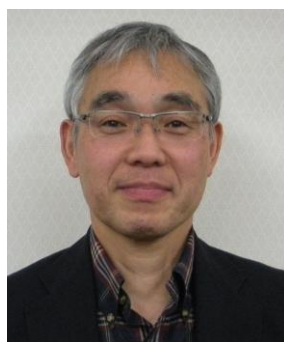
地域協議会
会長
伊藤 岩雄
【藤澤地区区長会】

この度高遠町地域協議会5期目の会長に就任することになりました伊藤岩雄でございます。よろしくお願いたします。

高遠町地域は少子高齢化、過疎、有害鳥獣、廃農地、高遠町総合支所建て替えなど多くの課題を抱えています。特に総合支所については、直近の大きな課題です。地域協議会では今年度、総合支所あり方研究会を発足させました。協議会委員の他、地区推薦、5区長会など34名の委員

の皆様は総合支所のあり方についてご議論をいただきます。総合支所については、将来の高遠町のあり方をみんなで考え、支所機能、規模、位置などを考えていきたいと思えます。

今回は高遠町地域を見つめ直す良い機会だと思います。是非、住民の皆様もご意見、考えを研究会の委員にお伝えください。私も微力ながら高遠町地域が活性化し住みよいまち、住みたいまちになるように取り組んで行きたいと思えます。皆様のご指導ご協力をお願いいたします。



地域協議会
副会長
黒河内 俊
【伊那市商工会高遠支部】

この度私は、伊那市商工会の推薦を受け当協議会の第5期委員を務めることとなりました。今期が始まり、地域の課題や問題に対して、真正面から向き合って参りたいと存じます。

このような会議に何分あまり知識も経験もありませんので、地域の皆様のご意見をお聞かせ頂き、お教え頂きながら一つひとつ論議し、解決がなされるように、行動して参りたいと存じますので、よろしくお願申し上げます。



1番委員
西村 清昭
【高遠地区区長会】

今年高遠町地区区長会をを務めさせていただきました。今年高遠町地区区長会をを務めさせていただきました。今年高遠町地区区長会をを務めさせていただきました。

中学を卒業後に進学や就職で故郷の高遠を離れて、長野県内外の各地を転々としていました。名古屋市や東京で都会生活を送った経験もあり、また若いころにリュックサックを背負って英語圏の世界を旅した経験も持っております。

そんな経験を生かしながら高遠町地域協議会の活動に真剣に向き合い、微力ながらも故郷のために貢献したいと思っております。





2番委員
伊藤 哲雄
【高遠地区区長会】

このたび区長会長の推薦などで委員になりましたが、今まで当協議会の存在を意識したことはありませんでした。

初回の会議で目的や活動内容等の説明を受けました。委員の選出団体は地域だけでなくPTAや婦人会、商工会、農業振興団体など多岐に渡り一般公募があるのに感心しました。「建議書」という名前に敵めしさを感じ、提案を読みながら協議会や委員の役割を少しずつ理解していきま

した。現在の一番の課題は高遠町総合支所の移転問題でしょう。新たに「総合支所庁舎あり方研究委員会」を設置し検討しています。会議に出るたびに様々な選出団体から推薦された皆さんが団体代表としての意見を堂々と述べます。皆さんの責任感に敬意を払います。

それと同時に自戒の念にもかられます。仕事を優先して適任とは言えません。今までに4、5回開催され2回しか出席できませんでした。手当がないのがまだ救いですが、自分の立場の弱さ、使命感の欠如を感じています。

この会議は市長の諮問機関のような存在です。決議されたことが必ずしもせ柵に反映するわけではありませんが、多数決第一の民主主義の短所を補っています。少数意見も大切に、選出団体等の提言を謙虚に聞きたいと思っています。将来の高遠町にとって有益である施策が、我々の提案から一つでも採用されれば良いと願っています。



3番委員
北原 博充
【長藤区】

協議会に何回か出席させていただき、日頃の勉強不足を痛感しています。

会議において、地域の意見を少しでも多く行政に伝えていくパイプ役として努力し、「日本で最も美しい村」に加盟が認められた高遠が、私たちの住みよいまち、また多くの人々が住んでみたいま



4番委員
北原 房子
【三義区長会】

空家バンク登録を

子供らの大きな声やにわたりの鳴き声が聞こえる昔ながらの風情が、山室の地に戻ってきたように思え、子どもの頃が懐かしく思い出されます。他県に生活している家族が、先に移り住み生活している家族を頼り話を聞きに来て、三義での生活をしたいと、空家探しをする。この山室での生活を送るのに一番早い情報と思えます。

長野日報の伊那版H30年2月18日付で「大工さん」と空き家見学。移住希望者に伊那市ツアーが始まり、地元の大工さんと一緒に巡るツアー。3物件を訪れリフォームに必要な箇所や工事の方法、予算などの助言を行った。参加者は専門的な話を聞くことができ、自分たちだけで物件巡りをするより、収穫が多いと喜んでいました。

家主が遠くに生活し戻ってきて生活する事はないが家の中の片付けをしなくてはバンクに申し込めない、助成金だけでは片づけられない、という問題、一年二年と経つうちに家は駄目になってしまふ。でも一応バンクに申し込みをしてみたらどうかと思うが、先人が苦労して建てた家なので大切なものだが、そのままつぶしてしまうのはなお残念に思う。



6番委員
西村 博
【河南区長会】

軽薄な認識であったにもかかわらず、薦められるままに大任を押し付けてしまいましたが、「地域協議会は住民及び諸団体の多様な意見の集約と調整を行い、住民と行政の協働によるまちづくりを推進する」という役割と責務の重さをあらためて認識し、襟を正しスタートさせて頂きました。輝かしい歴史と伝統を誇る高遠町が、更に住みよく美しく新たな文化興隆を創造し発展すべく、微力ながら委員活動に邁進させて頂きます。宜しく御願い申し上げます。



7番委員
北村 英幸
【高遠小学校PTA】

「あかねさす仙丈の山」とはじまる高遠小学校の校歌。この校歌は、今の校舎になる時、校長先生が作詞されました。私も高遠小学校の卒業生ですが、そのころは、「兜城址の桜花」という歌い始めの校歌でした。

当時、校歌とは別に唄われていた歌があります。それは今の小学校の門を潜り、校長室の前の石碑に刻まれています。

「清らかで美しく優しくたくましい子どもらに幸あれ」

「子どもらに幸あれ」とあるように、高遠小学校の子どもたちの幸せを願う人たちの声であると思います。

つまり、高遠小学校児童、一人一人の幸せを願うことばであり、「先生、友だち、おうちの人、地域の方々など、多くの方々に、見守られている」ということを教えてくれているんだと思います。当時から「子どもを大切に作る地域社会」が根付いているこの高遠において、改めて今後のあり方を見つめ直す時期であると感じています。

昔は10人でやっていた作業も、数年後には人口減少から1人でやらなければならない社会が訪れようとしています。

これからの高遠を担う子どもたちが何を求めているのか、何を継承しなければならないのか、また、何を簡略化してあげられるのか、という視点からこれからの高遠を見つめていきたいです。



8番委員
大塚 治男
【高遠北小学校PTA】

高遠北小学校PTAの今年のテーマは“子どものために・・・”です。

全ての活動を“子どものために”行うということ、当たり前のことですが、実は非常に難しい事があります。往々にして大人の場合、常識的に、安全のため等という理由で物事が進む中で、ちよつと立ち止まって“子どものために”を考えてみる。これを大切になりたいと思います。協議会にはいろいろな立場の方々に参加されていますが、私の立場は“子どものために”であり、これを基本にして様々な問題解決、議論に参加させて頂きたいと思えます。



「宝」

9番委員

武井 隆子

【高遠中学校PTA】

自然豊かで空気・水もおいしい、歴史と伝統のある高遠。娘が小学校三年生の時、この高遠に引っ越してきました。その娘も今では、中学二年生。学校・保護者・地域が子供達のために連携し高遠の宝である子供を見守る温かい町、高遠。今までお世話になった分、地域協議会委員として微力ですが、力をつくしたいと思っています。よろしくお願いたします。



10番委員

竹松 陽洋

【高遠保育園保護者会】

高遠保育園保護者会より地域協議会委員を務めさせていただくことになりました。今年度は新園舎の設立の年でもあります。上の子が現園舎の閉園とともに卒園、下の子が新園舎への入園というタイミングもあり、思い入れ深い年となり

そうです。

私自身も高遠で生まれ育ちました。この町の歴史、自然を受け継ぎ、また新しい魅力を築いていけるような短い任期ではありますが、頑張つて貢献できればと思っています。よろしくお願いたします。



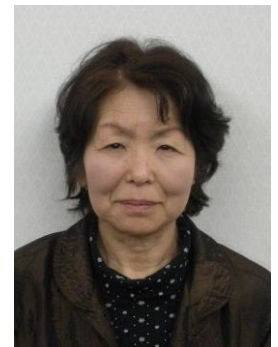
11番委員

保科 浩一

【高遠第2・第3保育園保護者会】

保育園保護者会の推薦を受け、委員となりました。高遠町に生まれ育ち、子育ての真つただ中です。小学校PTA副会長・現役の消防団員でもあります。

ここに暮らす日々の中で感じる問題点を、これからの二年間、一つでも多く議論に挙げ、委員の皆様と考えていきたいと思ひます。



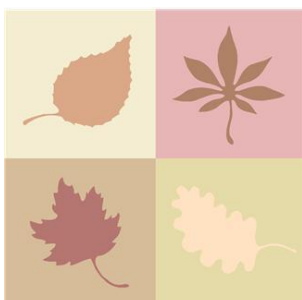
12番委員

矢澤 清子

【高遠町婦人会】

この度伊那市高遠町婦人会より推薦されました。昨年、婦人会の研修旅行で小布施を訪ねました。平日にもかかわらず、駐車場には県外ナンバー車が多くみられ、街は散策する人で賑わっていました。この街はなぜこの様に人を引き付ける魅力があるのかと、考えさせられました。

高遠町も、美しい自然、歴史に富んでいます。いかに活気ある町にしていけるにはどうしたらよいか、また総合支所のあり方等、色々課題があります。任の重さを痛感しているところです。皆様にささえられ、何とか任務を果たしたいと存じます。二年間宜しくお願致します。





13番委員

安井 かほる

【婦人教育推進協議会】

地域協議会のメンバーとして二期目を迎えました。本年は高遠町総合支所庁舎のあり方研究委員会のメンバーでもあります。これから二十年、三十年、五十年先に高遠町に住む皆様から、こんなにすばらしい高遠町に暮らすことができたいと、感謝されるような町であってほしい。その中でも、新しい支所庁舎は大いなる希望のシンボルと思います。



15番委員

浦野 真吾

【伊那市観光協会】

とても貴重な会議の委員の一人となり、身の引き締まる思いで四月から参加させていただいております。

高遠町は、歴史・文化や観光資源、自然がとても豊かな町だと思います。協議会委員として、少しでも住みよい町、行ってみたい町になる様、未来に向けた良い協議ができればと思います。



16番委員

西村 一則

【東部地区農業振興センター】

JA上伊那高遠町代表委員としてお世話になります。河南・高遠地区担当理事の西村一則と申します。

河南地区農業振興センター直営として、桜葉「大島桜」の栽培をし、出荷しております。桜の名所高遠の桜に係った振興作物として栽培され、六年目となりました。

出荷先からは、国産品が不足しており、増産してほしいという要望もあり、出荷日にあわせてできるだけ多くの量が出せるよう努力しております。新たに栽培してみたい方は、JA上伊那東部支所営農経済課までお問い合わせください。



17番委員

湯澤 正江

【伊那市高遠町
民生児童委員協議会】

今回二期目をお引き受けいたしました。前回の二年間は、会議に出される問題を聞き、理解することでした。各地域の情勢を知ることができ、大変勉強をさせていただきました。これからの高遠町も人口が益々減少し、少子・高齢化が進むことはたしかと思われま。各地域との連携を取りながら、何とか若い人が高遠に住んでいただき、子どもも高齢者も安心して暮らせる活気のある住み良い高遠町となる様、少しでもお役にたてればと思いますので、よろしくお願いいたします。



18番委員

守屋 臣介

【高遠町公民館】

私は公民館推薦で、地域協議会に参加してい

ます。少子高齢化は日本全体の問題です。その中で山間地の高遠町などはその最先端をいつている感じで、自分の住んでいる村の10年後、あるいは50年後を想像するととても不安を感じてしまいます。村が消滅してしまう事態も想像できませんが、これはあまりにも大きな問題です。会の中では現在の課題に向き合い、地域協議会の皆さんと一緒に話し、より良い方向に進むように考えて行きたいと思えます。



19番委員
伊藤 茂
【消防団】

日頃は、消防団活動にご理解ご協力頂きまして、誠にありがとうございます。

伊那市消防団東部方面隊は、本年度再編された新たな東部方面隊となりました。スタートの年で何かと慌ただしく、協議会に出席できないご迷惑をお掛けしております。

今まで、地域協議会に関わったことはなく、活動内容等について良く知りませんでした。この度委員になり、この地域協議会が地域にとって重要な委員会であることを知り、その一員であること

に責任を感じております。

消防団の立場から見た意見を述べることになるかと思っておりますが、地域のため一住民としての発言も出来ればと思っております。



20番委員
今枝 一
【一般公募】

今回公募にて地域協議会委員となりました。

直近の2期もPTAで務め、今回3期目となります。これまで、地域協議会の場に参加させていただき、少しずつですが、伊那市、高遠町のことを学ばせていただきました。同時に、個人的に、高遠第2第3保育園の休園騒動から始まる、子育て世代の移住家族受け入れ活動や、子供達と東京芸大との美術ワークショップなどに微力ながら関わることになりました。前回の委員としての任期が終わるに当たり、こういった活動の継続、定着のために、もう少しの時間、市政や地域に対しての発信、周りとの連絡、調整役として、地域協議会委員の任に留まる選択があるのではと考えるに至りました。また、他の方からもそうすべきといったアドバイスを受け、随分迷いましたが、再度の地域協議会委員に公募しました。

今期は総合支所庁舎をどうするかといった大

きな課題もあります。単に建屋の問題だけではなく、これからの高遠町が、この人口減の時代にどこを向くのか、という課題でもあると思います。答えはわかりません。しかし、多様な価値を持つ人々が憧れ共生でき、外の空気を吸ってきた子供達が帰帰する場所、そんな地域であればな、と思つていたりします。よろしくお願いいたします。



高遠町地域協議会では、20名の委員の皆さんが、地域の身近な課題や問題を真剣に論議し、各選出団体の代表として活動しています。地域協議会への意見や希望等がありましたら、協議会委員または高遠町総合支所総務課までご連絡ください。

■編集発行 高遠町地域協議会事務局

(伊那市高遠町総合支所総務課内)

■電話 94-2551

■FAX 94-3697

■Eメール t-sou@inacity.jp